

その他の検討課題

WG 検討課題**< 実証対象技術範囲の検討 >**

し尿分離型等の処理水の浸透技術は、日常的な維持管理の難しい避難小屋等におけるし尿処理対策として有効と考えられる。実証技術として取り扱うためには、法的な位置づけも考慮することが必要である。

事務局検討課題**< 事例データベースの機能向上 >**

事例データベースの目的は、トイレ技術を選定する際に、参考となるトイレ整備事例及び技術情報を提供することである。データベースをより有益で使い勝手の良いものとするため、これまでの検討経緯等を踏まえ、改善方針を作成する。

技術選定の際に、ある程度の条件を入力すれば、トイレ整備候補地に適応可能な技術を絞り込めるようにすることを目標とし、改良を行う。

< メールマガジン >

現在の配信数が 108 件であることから、配信数を拡大することを目的とした広報が必要である。また、関係者間での口コミによる拡大を期待するためには、内容の充実が必要である。

広報手法について、各都道府県担当者への紹介、他人に教えやすい仕組みづくり、申込方法の簡便化等が必要であると考えられる。

記事の内容については、従来通り検討会の概要報告のほか、2009 年度のセミナーのダイジェスト記事、データベースの解説等が現在想定される。

事務局にて記事の作成及び技術的改善と合わせて実施する。

< 経年実証試験の実施手順の見直し >

本年度から本調査を実施している経年実証試験において、実証試験の応募、技術の募集、試験実施方法等の明確化の必要性が確認された。本年度の経年実証試験の実施を通し試験要領の改訂を行い、WG にて確認を行う。